

句会を行いました

11月2日、毎年恒例となった句会を行いました。低中学年と高学年に分かれ、児童1人1人が考えた俳句を鑑賞しました。そして、各自がよいと思う句を選んでその理由を発表しました。どの俳句にもそれぞれの思いが込められていました。その後、講師の藤井逸馬先生からご指導いただきました。

豊かに想像して、思いを伝える力がある作品が多いですね。これからも言葉にこだわって俳句を楽しんでくださいね。



ぼくはこの俳句を選びました。例えが使って気持ちや様子を表現してあって、工夫されていると思ったからです。

児童の作品

さつまいもたべてみたらおいしいよ
うしさんがむしゃむしゃたべてかわいいな
コスモスのはなびらとってはなうらない
かめむしさんやめてくださいいくさいから
あちちちがぶりと一口ふかしいも
モンブランすごくおいしいぐるぐるだ
いもほりで大きないもとりたいな
バス停で手をするぼくの息白し
秋の山赤いセーターころもがえ
金色のイチヨウがふかれ空にまう
さわやかな赤色踊る彼岸花
きんもくせいのおり運ばれ部屋の中
太陽にもみじてられ終わり告げ
さつまいも秋といっしょにこんにちは
さわやかな秋の夕日はかがやいて